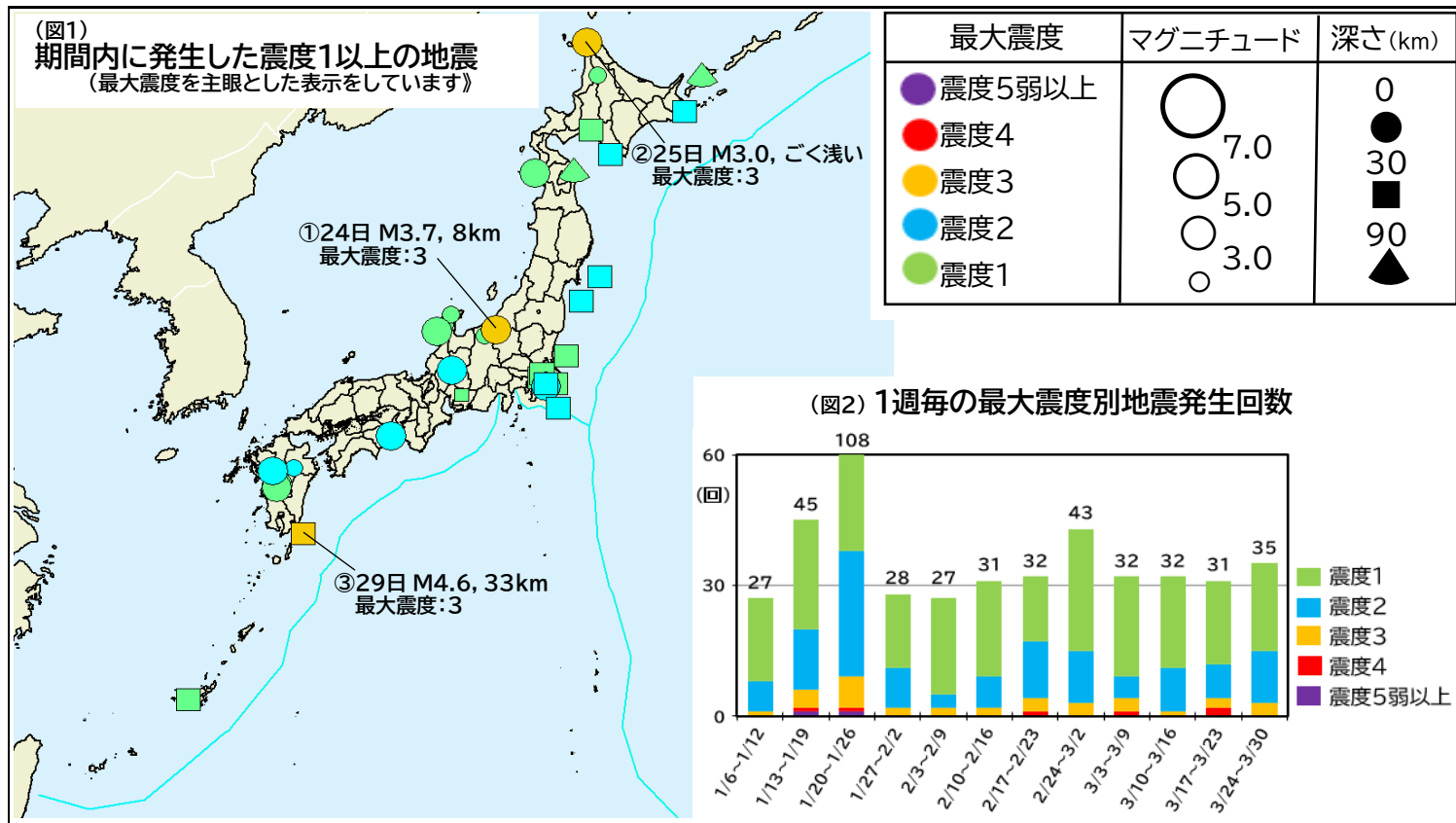


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が35回発生。最大震度は3 ■
- ①3月24日11時37分に長野県北部で発生した地震(M3.7、深さ8km)により、長野県栄村、新潟県上越市・十日町で震度3を観測したほか、長野県、新潟県、群馬県で震度2~1を観測。2011年の東北地方太平洋沖地震の翌日に発生したM6.7(最大震度6強)の余震域内で発生したもの。
- ②3月25日06時53分に宗谷地方北部で発生した地震(M3.0、ごく浅い)により、北海道稚内市で震度3、豊富町で震度1を観測。ほぼ同じ所で28日に発生したM2.8の地震により、稚内市で震度2、豊富町で震度1を観測。
- ③3月29日04時45分到大隅半島東方沖で発生した地震(M4.6、深さ33km)により、鹿児島県鹿屋市・錦江町で震度3を観測したほか、鹿児島県と宮崎県で震度2~1を観測。

トピックス

- ミャンマーの地震活動 ■
- ・3月28日15時20分(日本時間)にミャンマーでM7.7の地震が発生し大きな被害が出ています。以下にミャンマーの地震活動を見てみました。
- ・この付近の大まかな地質構造は、ミャンマーが属するユーラシアプレートの下にインド・オーストラリアプレートが沈み込んでいると考えられており、沈み込みの深さが150km程度となるミャンマー中央部を、ミャンマー西縁のユーラシアプレートとインド・オーストラリアプレートの境界線に並行するように南北に走るようにサガイン断層が位置しています(図3参照)。
- ・今回の地震は、このサガイン断層で発生したものと考えられます。
- ・サガイン断層で発生する地震のタイプは右横ずれ断層が多く、今回の地震も右横ずれ断層でした。
- ・断層面を境に地面が水平方向に動くことを「横ずれ断層」と呼び、断層に向かって相手側のブロックが右に動く場合を「右横ずれ断層」と言います。
- ・ミャンマーの地震活動は、ミャンマー西縁のプレートの境界とサガイン断層の間で活発です。
- ・サガイン断層付近では2012年のM6.8など、M6後半の地震は度々発生しており、1912年にはM7.9の地震が発生しています。また、今回の震源付近では2012年11月頃から活動が目立つようになっています。
- ・30日までに発生した最大余震は、12分後に発生したM6.7です。
- ・今回の地震の規模はM7.7ですので、暫くは余震活動が続くものと考えられます。

